



# TX 環境報告書

## 2020



 **つくばエクスプレス**

**首都圏新都市鉄道株式会社**

## はじめに

当社は、開業以前から完全立体交差化、環境配慮型車両の導入、また秋葉原駅では氷蓄熱冷房システムを採用するなど、環境に配慮した施設・設備を導入してきました。

開業以降は、「企業行動指針」に「環境問題への積極的な取組み」を掲げるとともに、2008年度からは「環境に関する基本的な指針」を定め、回生エネルギーの有効活用など様々な取組みを推進してきました。

さらに、TXをご利用になるお客様や沿線にお住まいの方々などに広く当社の環境活動をお知らせするため、環境配慮促進法に則り「環境報告書」を2008年度に初めて作成して以来、毎年公表してきました。

これまで、環境報告書は3月に発行してきましたが、3月末までの取組みや実績を反映した年度報告書とすべく適正な時期へと変更することとしました。そのため「環境報告書2020」につきましては、これまで発行してきた環境報告書との連続性を踏まえ、環境コミュニケーション活動などの主な取組みの紹介に留め、簡易版として発行します。実績を含めた2020年度の詳細な報告は、「環境報告書2021（秋頃発行予定）」に掲載します。

今後も、持続可能な社会の実現に向け、社会の一員として貢献してまいります。

### 環境に関する基本的な指針

- ◇ お客様に安心してご利用いただけるよう安全・安定輸送の徹底に全力を尽くし、環境にやさしい公共交通機関である鉄道の利用促進を図ります。
- ◇ 沿線の自治体や住民の皆様との環境コミュニケーション活動を積極的に展開します。
- ◇ 低炭素社会を実現し地球温暖化を防止するため、エネルギーの効率的利用を推進します。
- ◇ 沿線環境を保全するため、騒音・振動対策を確実に実施し、沿線の皆様と共生します。
- ◇ 資源循環型社会の実現をめざして、資源のリデュース、リユース、リサイクル、リヒューズ、リペアの5Rに努めます。
- ◇ 環境に関する法令を遵守し、環境汚染を防止します。
- ◇ 役員及び社員の環境保全意識の向上を図り、一人ひとりが環境問題に対して、積極的に取り組みます。

## ●環境コミュニケーション活動

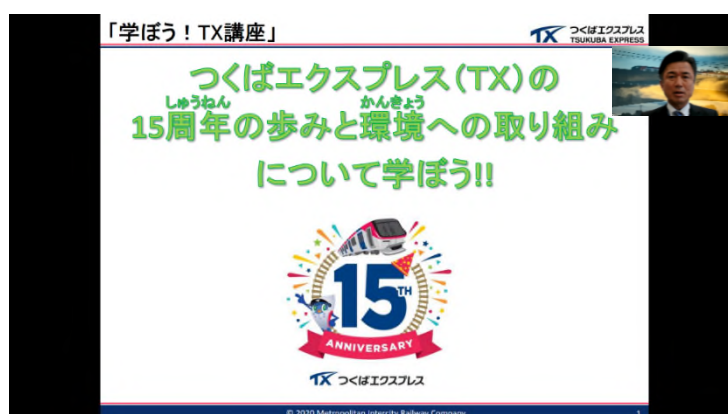
### ■学ぼう！TX講座

当社の鉄道事業や環境の取組みへの理解を深めていただくため、沿線地域の小学生を対象とした「学ぼう！TX講座」を開催してきました。今年度は、コロナ禍でイベント等の開催が難しい中、2016年から連携（本年7回目）している流山市生涯学習センターのご協力の下、WEB会議システムを利用し、初めてリモート形式により開催しました。

本講座では、当社の15周年の歩みや環境への取組みを紹介するとともに、リモートで参加できるクイズを交え楽しんで学べるよう工夫を凝らしました。

実施日：2020年12月12日（土）

開催団体：流山市生涯学習センター、首都圏新都市鉄道（株）



WEB会議システムを利用した講座の様

### ■自然環境保全活動

#### ○「守谷野鳥のみち（野鳥の森散策路と鳥のみちの総称）」

貴重な野鳥の観察ができる「守谷野鳥のみち」は、守谷市観光協会（市民ボランティアで構成）が守谷市の支援と協働により整備した遊歩道で、当社も2017年度より協力し毎年保全活動に参加しています。

今年度は、当社から19名が参加し、遊歩(木)道（全長730m、幅1.4m）の防腐剤塗装作業を共同で実施しました。

実施日：2020年11月5日（木）

活動団体：守谷市、守谷市観光協会、首都圏新都市鉄道（株）



作業説明



防腐剤塗装作業

## ●事業活動に伴う環境負荷の低減

### ■LED照明の導入

鉄道施設の省エネルギー、CO<sub>2</sub>削減に向け、照明器具を、消費電力の少ないLED照明器具に順次交換しています。

これまで、国の補助金を活用した車内灯及び全20駅のホーム照明のLED化や、営業線のトンネル照明、総合基地の構内照明などのLED化が完了しました。

駅構内のコンコース照明は2018年度からLED照明の導入を開始し、2020年度は、北千住駅、青井駅、万博記念公園駅、研究学園駅、つくば駅の計5駅の導入を完了しました。

今後も照明のLED化を推進します。



LED照明交換作業(つくば駅)

・・・2020年度LED照明導入駅

駅構内コンコースLED照明更新完了駅一覧			
秋葉原駅	新御徒町駅	浅草駅	北千住駅
青井駅	六町駅	八潮駅	南流山駅
流山セントラルパーク駅	流山おおたかの森駅	柏たなか駅	みらい平駅
みどりの駅	万博記念公園駅	研究学園駅	つくば駅

## ●その他の活動

### ■食品ロス<sup>※1</sup>の低減

当社で備蓄している防災備品のうち、賞味期限が近い非常食について、今年度初めてフードバンク<sup>※2</sup>を通じて、社会福祉施設や団体に無償で提供し、食品ロスの低減に寄与しました。

提供重量：860kg（4,800食分）

※1 食品ロスとは、まだ食べられるのに廃棄される食品

日本全体で約600万トン/年発生と推計

※2 フードバンクとは、食べられるのに様々な理由で廃棄

される食品を食べ物に困っている施設や人に届ける活動



非常食の配送作業

#### 《お問い合わせ》

〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町85番地 JEBL 秋葉原スクエア

首都圏新都市鉄道株式会社 経営企画部

TXコールセンター 0570-000-298（通年9時～19時）

WEBサイト <http://www.mir.co.jp/>

〔2021年3月発行〕